

のぐち歯科・口腔外科医院だより

2020年夏号 Vol.13



信州球児の夏 2020

新型コロナウイルス感染拡大により甲子園大会が中止になり、長野県では独自大会「夏季高校野球長野県大会」が開催されました。そんな中、**佐久長聖高等学校が長野県内78校の頂点**に立ちました。今年は甲子園へつながらない大会であることから、3年生にとっては最後の大会、最後の試合になりました。優勝した佐久長聖も例外ではなく、決勝戦の飯山高校戦の試合が終わった瞬間に多くの選手が涙していた姿が印象的でした。

高校球児は甲子園出場を目標に掲げて3年間頑張ってきていると思います。その目標がなくなったことは、高校球児達にとってどれだけ影響があったことかと思います。そんな中、ベストメンバーで臨む学校もあれば、3年生中心でチームを組んだ学校もありました。優勝した佐久長聖は「3年生52人全員で優勝する」という目標で戦ったそうです。監督さんは大変であったと思いますが、準決勝までに3年生52人全員をベンチ入りさせたそうです。

今年の信州球児の夏は終わりましたが、特別な夏を経験した高校球児達には、この経験を励みに大学野球や社会人野球でさらに活躍してもらいたいと思います。



知って得する歯科の知識 13

歯周病が全身に及ぼす影響① 心筋梗塞・脳梗塞

近年、歯周病菌と歯周病により産生された炎症性物質が全身にまわり、さまざまな臓器に悪影響を及ぼしていることがあきらかになってきました。

①心筋梗塞

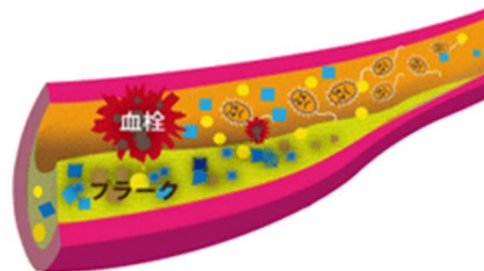
動脈硬化により心筋に血液を送る血管が狭くなったり、塞がってしまうことで心筋に血液供給がなくなる病気

→歯周病菌が歯茎の血管から侵入して全身に運ばれます。歯周病菌に血管が反応を起こし動脈硬化が誘発され血管内にプラーク(粥状沈着物)が作られやすくなるこれにより血栓形成されることで血管の詰まりを起こす。

②脳梗塞

脳の血管がプラークで詰まったり、頸動脈や心臓から血栓が飛んでくることで脳血管が詰まる病気

→歯周病の人はそうでない人の2.8倍脳梗塞になりやすいと言われています。脳梗塞の予防には、血圧、コレステロール、中性脂肪のコントロールに加えて動脈疾患予防の1つとして歯周病治療、予防が必要です。



(参照:日本臨床歯周病学会)